

高槻市障がい者福祉(高齢者福祉)システム標準化移行等業務  
に係る事業者選定審査基準

■書類・プレゼンテーション審査

	評価項目	評価の視点	点数
1	業務実績	<p>同種業務の履行実績は、本業務を履行できると信頼するに足るものか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案事業者の自治体向け障がい者福祉システム標準化移行業務の導入実績</li> <li>・提案する自治体向け障がい者福祉システムパッケージの中核市への導入実績について、令和8年4月1日現在のシステム利用市の数、そのうち令和2～7年度に新規導入した市の数</li> </ul>	5点
2	事業者に関する項目 実施体制・サポート体制	<p>【実施体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務全体及び各業務工程の取組体制は適切か。</li> <li>・本業務を確実に実施できる十分な人身体制であるか。</li> <li>・プロジェクトマネージャ、プロジェクトリーダー及び担当技術者の同種業務への従事実績は、本業務の責任者や担当者として十分なものであるか。</li> </ul> <p>【サポート体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム導入時の職員研修計画が充実しているか。</li> <li>・本番稼働後の問い合わせ窓口、障害対応(SLA)が明確か。</li> </ul>	9点
3	業務工程管理・データ移行管理	<p>【業務工程管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切なプロジェクト管理が行われ、本業務を確実に実施できる作業工程及び日程となっているか。</li> <li>・スケジュール遅延のリスクや、それに対する対応策が考慮されているか。</li> </ul> <p>【データ移行計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現行システムからのデータ移行計画が具体的で、リスクが考慮されているか。</li> <li>・データ移行品質(整合性)確保の考え方が示されているか。</li> </ul>	6点

	評価項目	評価の視点	点数
4	機能帳票要件に関する事項  障がい者福祉システムのうち標準化対象事務	<p>①障害者福祉システム標準仕様書【第 5.1 版】機能・帳票要件(実装必須機能)の状況について、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本番稼働日までにすべての実装必須機能が実装されているか。</li> <li>・未実装や本番稼働日までに実装されないものについては、市民サービスや業務運用に影響を与えるものなのか。影響を与える場合、代替措置等の提案はあるか。</li> </ul> <p>②障害者福祉システム標準仕様書【第 5.1 版】機能・帳票要件(オプション機能)の実装状況(本市の要件への対応)について、本市の要件として、「必須」としているものに対して、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パッケージ機能として、「実装済」としている機能がどのくらいあるか(充足率)。</li> <li>・「一部実装」や「実装しない」もののうち、「○:外付けシステムとして提供することができる」、「△:別システムと併用することで提供することができる」、「▲:EUC等の代替案によって実現可能」なものの充足率。</li> </ul> <p>また、パッケージ機能で対応できない機能について、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独自のノウハウや実績をもとに具体的な解決策を提示しているか。</li> <li>・国の標準仕様の方針から逸脱していないか。</li> <li>・その解決策は、市民サービスの維持・向上や業務効率化への貢献が期待できるか。</li> <li>・その解決策は、実現性があり、経済的で高い効果が見込めるか。</li> </ul>	15点

	評価項目	評価の視点	点数
5	機能帳票要件 障がい者福祉システムのうち標準化対象外事務	標準化対象外事務について、 ・必須要件を充足しているか。 ・任意要件の充足率が高いか。 また、パッケージ機能で対応できない機能について、 ・独自のノウハウや実績をもとに具体的な解決策を提示しているか。 ・その解決策は、市民サービスの維持・向上や業務効率化への貢献が期待できるか。 ・その解決策は、実現性があり、経済的で高い効果が見込めるか。	8点
6	に関する事項 高齢者福祉システム	高齢者福祉システムについて、 ・必須要件を充足しているか。 ・任意要件の充足率が高いか。 また、パッケージ機能で対応できない機能について、 ・独自のノウハウや実績をもとに具体的な解決策を提示しているか。 ・その解決策は、市民サービスの維持・向上や業務効率化への貢献が期待できるか。 ・その解決策は、実現性があり、経済的で高い効果が見込めるか。	7点
7	企画提案に関する項目 本市が抱える課題等	「本市が抱える課題」に記載される各課題①～⑥に対して、 【共通の観点】 ・独自のノウハウや実績をもとに具体的な解決策を提示しているか。 ・その解決策は、市民サービスの維持・向上や業務効率化への貢献が期待できるか。 ・その解決策は、実現性があり、経済的で高い効果が見込めるか。 ・解決策の実現に向けて、積極的かつ能動的に取り組む意欲が感じられるか。 【個別の観点】 <課題①> ・標準化対象事務のうち、標準様式とは異なる様式を外付け機能等を活用し実装が可能であるか。	30点

		<p>・可能である場合、印字範囲やその実装手段は円滑な窓口運用に資することができるか。</p> <p>・標準化対象外事務(高齢者福祉システム含む)について、帳票出力機能が実装でき、印字範囲やその実装手段は円滑な窓口運用に資することができるか。</p> <p>・「書かない窓口」の運用として、主に申請保留の機能を活用し、窓口におけるシステム入力や申請書発行に係る窓口運用の業務フローと各事務担当者の審査・決定に係る内部事務の業務フローについて、作業内容が重複せず、一連の流れとして進めることができるか。</p> <p>&lt;課題②&gt;</p> <p>・画像情報や電子データの保存及び管理機能を実装できるか</p> <p>・実装可能な場合、データの保存・管理方法について、電子保存の3原則(真正性・見読性・保存性)が遵守されているか。</p> <p>(真正性)そのデータが本物でだれがいつ保存したか記録し、不正な改竄ができないような仕組みがあるか。</p> <p>(見読性)必要に応じていつでもだれでも閲覧できる状態。宛名番号⇒事務別⇒日付別⇒書類名等の順で保存される等、必要な情報がすぐに見つけられるか(検索性)。</p> <p>(保存性)保存された情報が定められた期間にわたり、変化せずに確保されているか。</p> <p>&lt;課題③&gt;</p> <p>・宛名番号等の情報をバーコードやQRコードにして、申請書類や支給券等の帳票等に印字することができるか</p> <p>・バーコードリーダー等を使い、システムにその情報を入力できるか。</p> <p>&lt;課題④&gt;</p> <p>・受付チェックシートや受付済み・再来庁案内及びヒアリングシートの作成について、機能実装が可能か。</p> <p>・制度改正や事務運用の変更があった際に、容易に追加や修正ができ、支援を行ってくれるか。</p> <p>・大阪府国民健康保険団体連合会への業務委託化が決定した際に、必要な機能の実装やデータ連携が可能か。</p> <p>・業務委託を予定している事務全てに対して対応が可能</p>	
--	--	---	--

		<p>か。</p> <p>&lt;課題⑤&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間保守費用に含まれる作業と含まれない作業を区別されているか。</li> <li>・年間保守費用に含まれる作業は、円滑な業務運用且つ安定的なシステム稼働に資するもので、障害発生 of 早期検知や迅速な復旧作業ができるとともに、問い合わせ対応やアクセスログの点検、その他運用支援も手厚い内容であるか。</li> <li>・標準仕様書等の改版や制度改正時の対応範囲が広く年間保守費用に含まれており、追加費用の発生リスクが低い。</li> <li>・年間保守費用に含まれない作業については、それぞれ追加費用が発生する条件、およびその費用算出方法(単価、見積基準など)を明確化されおり、予期せぬ出費のリスクが低い。</li> <li>・年度毎の運用保守費用について、年間想定作業量により、不断の見直しができるものであるか。</li> </ul> <p>&lt;課題⑥&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本場稼働日を令和9年9月へスケジュールの前倒しが可能であるか。</li> <li>・可能な場合でも、スケジュール遅延のリスクや、それに対する対応策が考慮されているか。</li> </ul>	
8	見積価格に関する項目	<p>【見積金額の経済性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者福祉システム及び高齢者福祉システムに係る見積額(システム移行等作業)は経済的であるか。</li> </ul>	12点
9		<p>【運用・保守費用の経済性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者福祉システム及び高齢者福祉システムに係る基礎的な年間保守費用について、令和10年度～14年度の平均費用(クラウド利用料含む)がコストパフォーマンスに優れたものであるか。</li> </ul>	8点
10	合計		100点

合計100点満点